



ほしの みちこ
星野 道子さん(向上野)

太陽に向かって力強く咲くひまわりに、いつも元気をもらっています。

あけのひまわりフェスティバルの最大の魅力は「八重ひまわり」を栽培していることです。八重ひまわりは、種苗会社が10年かけて開発した品種で、草丈が低い^{くさたけ}ため風に強く、種が^なこぼれても発芽しにくい^{くさたけ}ため、次の耕作への影響が少ないという特徴があります。有名なゴッホの絵画も八重ひまわりです。種があまり出

希少な八重ひまわりの栽培

市の4大祭りの一つ「あけのひまわりフェスティバル」。多くの人を惹きつけるイベントの魅力を明野ひまわりの里実行委員会の西村伊代^{にしむら いよ}会長(海老ヶ島)に伺いました。

今年で30年目となる 「あけのひまわりフェスティバル」

筑波山を背景に100万本の八重ひまわりが咲き誇る
見ごたえがある景観は、地域おこしの見本。

市だけでなく、広大なひまわり畑として栽培しているのは、国内でも筑西市だけです。

東京から近いということもあり、毎年約10万人の人が訪れます。特に県外からの来場者が多く、近年は外国から訪れる人もいます。そこで、ひまわりを見に来た人に筑西市の魅力をもっと知ってもらえるようにと、下館駅からひまわり畑まで、無料のシャトルバスも運行しています。

多くの人の協力で成り立つ

ひまわりフェスティバルは、52団体が加入する実行委員会を中心として運営しています。しかし、広大な



インターネット上に写真を投稿する人向けに、より魅力的な写真が撮れるフォトスポットを設置しています。

問

観光振興課(本庁3階)
☎ 20・1160

ひまわり畑を実行委員会だけで管理することはできません。そこには、土地を提供してくれる地権者や耕作者をはじめ、種まきや刈り取りをするJA北つくば青年部、除草作業をする近隣自治会など、多くの人の協力があります。

今後も伸びしろいっぱい！

西村会長は、今後の企画について「子どもたちが体験できるイベントを実施したり、ひまわり畑で開催されるマーケットにクラフト作家さんたちの参加を呼びかけたり、また、音楽ステージも充実させて、もっともっとお祭りを盛り上げていきたい。それから、お客さんに安心してお越しいただけるように救護所や授乳室などの設置も予定しています」と語ってくれました。また、一緒にイベントを盛り上げてくれる実行委員も募集しているとのこと。



350人も人が集まった除草作業



種まきを行うJA北つくば青年部のみなさん